

単 位 数	教 科 担 当 者	使用教科書・補助教材・その他
2	土屋 斎嘉 金子 由紀	使用教科書「詳説 世界史」 (山川出版社) 補助教材 「グローバルワイド 最新世界史図表」 (第一学習社) 「ウィンステップ世界史探究」(ラーンズ)
必 履 修 ○学校必履修 必修選択 自由選択		

#### ◆学習の目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

#### ◆主な学習内容・方法

(1)「歴史総合」の「問いを表現する」学習の成果を活用し、「諸地域の歴史的特質の形成」、「諸地域の交流・再編」、「諸地域の結合・変容」について考察し、生徒が問いを表現する。  
(2)「諸地域の結合・変容」「地球世界の課題」について、教科書と授業プリントを中心教材として、随時副教材を使用しながら主として講義形式で学習する。

#### ◆到達目標と観点別評価の評価規準

〔標準〕

- ・世界の歴史の大きな枠組みと展開を構造的に理解し、時系列上での確に把握する。
- ・事象の内容や事象間の因果関係を的確・簡潔に表現できる。

〔応用〕

- ・歴史的に形成された地球世界の課題を多角的な視野で理解することで、考察する糧とする。

〔観点別評価の評価規準〕

○知識・技能

世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

○思考・判断・表現

世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

○主体的に学習に取り組む態度

世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

#### ◆年間予定授業時間

予定時数	70 時間	2 学期 ( 40 時間)	3 学期 ( 30 時間)
------	-------	---------------	---------------

◆学習のしかた（予習・復習・宿題・課題・その他）

- ・予習…教科書の「問い」に着目しつつ、事前に通読する。
- ・復習…板書ノートと教科書・「グローバルワイド 最新世界史図表」等に関連させて、整理する。
- ・課題…「問い」を自分で解く。演習プリントを適時行う。
- ・その他…補習や夏季補習も授業に関連させて、活用することを勧める。

◆授業計画

学期	月	単元・教材等	単元 ごとの 時間数	学習の内容	学習到達目標
2 学期	8	「世界史へのまなざし」	1	世界史へのまなざし 文明の成立と古代文明の特質 中央ユーラシアと東アジア世界	「歴史総合」の「問いを表現する」学習の成果を活用し「諸地域の歴史的特質の形成」、「諸地域の交流・再編」、「諸地域の結合・変容」を構造的に捉えるための観点について考察し、生徒が問いを表現する。  地球規模での一体化と相互依存のさらなる強まりを、諸資料を比較したり、関連付けたりして読み解き、多面的・多角的に考察し表現する活動を通して、諸地域の結合・変容を構造的に理解する。
	9	「諸地域の歴史的特質の形成」	4	南アジア世界と東南アジア世界の展開 西アジアと地中海周辺の世界形成 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成	
	10	「諸地域の交流・再編」	5	イスラーム教の伝播と西アジアの動向 ヨーロッパ世界の変容と展開 東アジア世界の展開とモンゴル帝国	
	11	「諸地域の結合・変容①」	30	大交易・大交流の時代 アジアの諸帝国の繁栄 近世ヨーロッパ世界の動向 産業革命と環大西洋革命	
	12			イギリスの優位と欧米国民国家の形成 アジア諸地域の動揺	
3 学期	1	「諸地域の結合・変容」②	20	帝国主義とアジアの民族運動 第一次世界大戦と世界の変容 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成	歴史的に形成された地球世界の課題を理解する。  今までの歴史学習を踏まえて、人々が協調し共存できる持続可能な社会の実現を視野に入れて、生徒自身が設定した主題を多面的・多角的に探究し、世界とそこの中の日本を展望する。
	2	「地球世界の課題」	10	冷戦と第三世界の台頭 冷戦の終結と今日の世界 地球世界の課題の探究	
	3				